

防災センターを兼ねた揖斐川町庁舎建設事業が完了

平成19年度から建設が進められてきた、防災センターを兼ねた揖斐川町庁舎建設事業が完了しました。昨年8月に完成した本庁舎は、高度な耐震性能・防火性能に加え、非常用発電装置を整備し、災害時の指令中枢機能を備えた防災・災害復興の拠点として、住民の安全・安心を守る役割を果たすことができます。

また、地球温暖化対策として、CO₂（二酸化炭素）を排出しないクリーンエネルギーである「太陽光発電システム」、「ソーラーLED外灯」などを採用し、環境に優しい施設となっています。

7月15日(金)には、完成式が行われ、関係者250人が参加し、町の安全・安心を支える拠点の完成を祝いました。



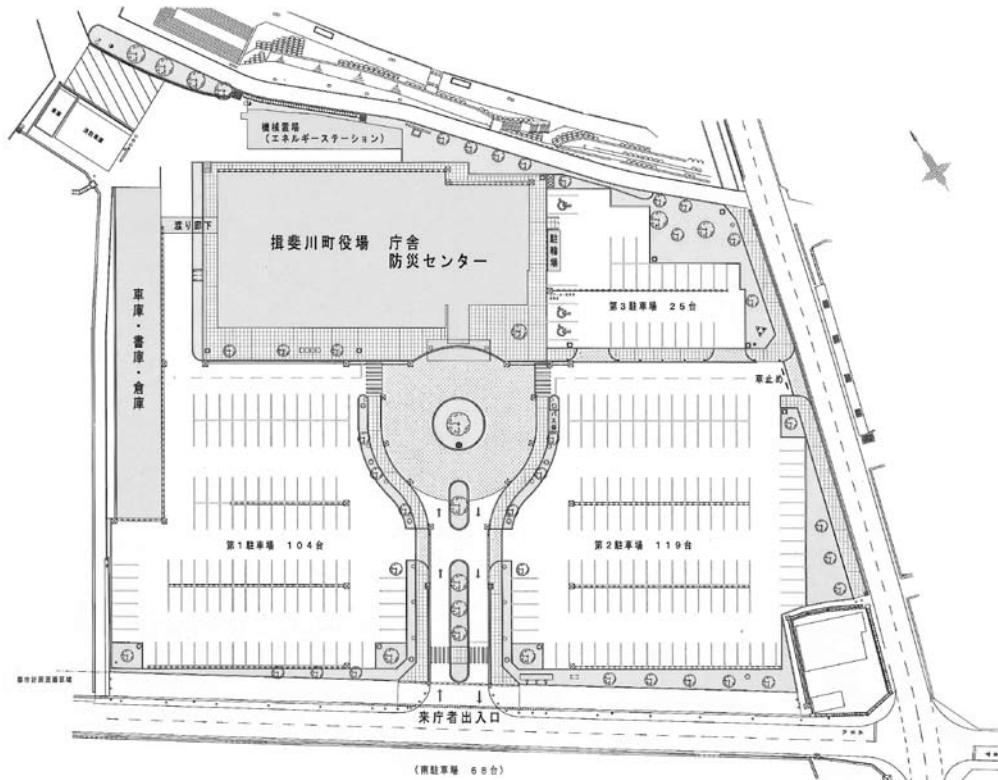
【事業概要】

事業名	防災センター兼揖斐川町庁舎建設事業	
事業年度	平成19年度～平成23年度	
事業費	2,497,500千円 内工事費 2,225,322千円	
財源内訳	国合併推進体制整備費補助金	46,000千円
	県市町村合併支援交付金	900,000千円
	地域グリーンニューディール基金事業補助金	41,789千円
	合併特例債	461,000千円
	公共施設整備基金	1,018,461千円
	寄付金	1,100千円
	一般財源	29,150千円

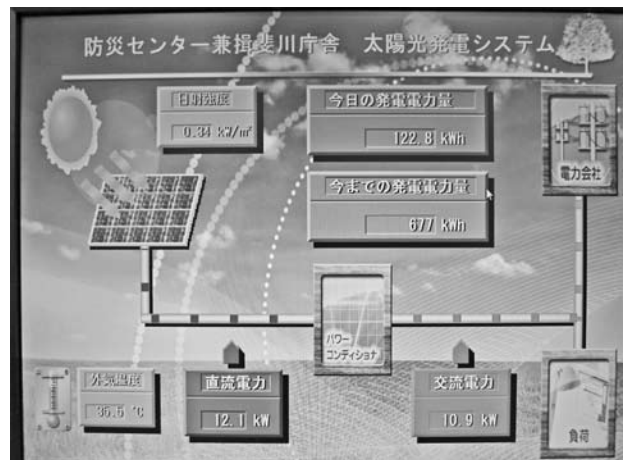
【施設概要】

敷地面積	14,111.20㎡					
建築面積	2,339.54㎡					
延床面積 (㎡)	庁舎棟	車庫棟	渡り廊下	駐輪場	機械置場	計
	6,039.97	970.20	37.20	18.34	29.40	7,095.11
構造	庁舎棟		車庫棟		渡り廊下	
	鉄骨造 5階建		鉄骨造 2階建		鉄骨造 2階建	
その他	太陽光発電システム：30kw、非常用発電装置：200kVA ソーラーLED外灯：12基、駐車場台数：250台					

防災センターを兼ねた揖斐川町庁舎配置図



▲太陽光発電システム（車庫棟屋根に設置）



▲庁舎1階総合案内所で発電状況が確認できます



▲庁舎玄関前ロータリーとバス停（コミュニティバス）



▲ソーラー LED 外灯